

An illustration featuring two superheroes, a man and a woman, walking across a suspended bridge. They are silhouetted against a night sky with a large full moon and stars. The man is on the left, wearing a red cape and a black suit with yellow trim. The woman is on the right, also in a black suit with yellow trim and a red cape. The bridge is a wooden truss structure suspended by cables. Below the bridge, a cityscape is visible at night, with the Tokyo Tower illuminated in orange and red. Mount Fuji is visible in the background on the left. The overall scene is set against a dark blue night sky with clouds.

MISSION

国民の暮らしを豊かにし、
未来を照らすHEROを目指す

国家公務員
技術系職種
ガイド
2025



MISSION

国民の暮らしを豊かにし、 未来を照らすHEROを目指す。

国家公務員の仕事ってなんだろう？

このパンフレットを手にとったみなさんはそう思っているかもしれません。

私たちの仕事は国全体に関わる業務を行うこと。

人々の暮らしをより豊かにする政策の企画・立案。

必要な政策実現のための調整、政策の実行・フォローアップ。

すなわち、この国に存在するすべての人のための仕事です。

時には、国内にとどまらず国際社会の中で、世界規模の課題に取り組むことも。

担当するミッションはそれぞれの府省で違っても、

共通するのはこの国の人々を想い、考え、実行すること。

そこには、国家公務員でしか経験できない社会貢献があります。

あなたの考える豊かな暮らしとは？

あなたの考えるこの国に足りないものは？

人の力は国の力。

一人ひとりの挑戦が国づくりのための鍵となります。

目 次

このパンフレットでは、
各府省ごとに国家公務員の技術系職員が携わる業務を紹介します。

03	目次	16	府省紹介 経済産業省
04	区分専攻マトリクス図	17	府省紹介 特許庁
05	府省紹介 警察庁	18	府省紹介 国土交通省
06	府省紹介 デジタル庁	19	府省紹介 気象庁
07	府省紹介 総務省	20	府省紹介 海上保安庁
08	府省紹介 消防庁	21	府省紹介 環境省
09	府省紹介 法務省	22	府省紹介 原子力規制庁
10	府省紹介 外務省	23	府省紹介 防衛省
11	府省紹介 財務省税関	24	給与・勤務時間など 人材育成
12	府省紹介 国税庁	25	試験から採用までの流れ
13	府省紹介 文部科学省	26	府省等別・試験の区分別採用状況 総合職試験
14	府省紹介 厚生労働省	27	府省等別・試験の区分別採用状況 一般職試験 (大卒程度試験)
15	府省紹介 農林水産省		

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。

区分専攻マトリクス図

総合職試験													一般職試験													本府省以外の 主な勤務先
府省庁名	情報系	機械系	土木系	建築系	数理系	物理系	化学系	農科系	農工系	森林系	その他	情報系	機械系	土木系	建築系	数理系	物理系	化学系	農科系	農工系	森林系	その他				
会計検査院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—			
内閣官房内閣情報調査室												●	●			●			●				—			
内閣官房内閣 衛星情報センター												●	●	●		●	●	●	●				—			
警察庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	管区警察局			
科学警察研究所	●	●	●		●	●	●	●	●		●												—			
個人情報保護委員会												●											—			
金融庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—			
消費者庁											●	●						●	●				—			
デジタル庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—			
総務省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	総合通信局			
消防庁	●	●	●	●	●	●	●	●			●												—			
法務省	●	●		●								●	●		●								—			
公安調査庁	●	●			●	●						●	●										公安調査局			
外務省	●		●	●								●	●		●		●						在外公館			
財務省(本省)	●	●	●	●	●	●			●			●	●		●								—			
財務省(財務局)				●								●			●								財務局			
財務省(税関)	●	●					●	●				●	●					●	●				税関			
国税庁	●	●	●		●	●	●	●			●					●		●	●			●	国税局			
文部科学省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—			
厚生労働省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	地方厚生局			
農林水産省	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方農政局、検査指導機関			
林野庁	●										●			●	●						●		森林管理局			
水産庁	●	●	●	●				●				●	●	●	●				●				漁業調整事務所			
経済産業省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	経済産業局			
特許庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—			
国土交通省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方整備局、地方運輸局、 地方航空局			
気象庁	●		●		●	●	●					●		●		●	●	●	●	●	●	●	管区気象台、地方気象台			
運輸安全委員会												●	●	●			●	●					—			
海上保安庁	●	●				●		●				●	●				●		●				管区海上保安本部			
環境省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地方環境事務所			
原子力規制庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—			
防衛省	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	陸上自衛隊、海上自衛隊、 航空自衛隊、地方防衛局			
防衛装備庁	●	●			●	●	●					●	●			●	●	●					研究所及び試験場			

凡例

情報系	情報工学系、電気・電子系、材料工学系
機械系	機械系、原子力工学系、造船工学系、材料工学系
土木系	土木系、資源工学系
建築系	建築系
数理系	数理科学系
物理系	物理系、地質系
化学系	化学系、生物系、薬学系、農芸化学系
農科系	農学系、農業経済系、畜産系、水産系
農工系	農業工学系
森林系	林学系、砂防系、造園系、林産学系
その他	情報系から森林系までのいずれにも該当しない理系専攻分野



採用予定数
(総合職試験)は
こちら



採用予定数
(一般職試験(大卒程度試験))は
こちら

令和8年4月の採用予定数は、令和7年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

もっと
詳しく読む



市民の安全を守るリーダー

警察庁には、国民の「安全・安心」のために、技術系職員がその能力を存分に発揮できるフィールドがあります！

本庁では総合職（行政職）、一般職（情報通信/DNAセンター）職員が、附属機関である科学警察研究所では

総合職（研究職）職員が活躍しています。総合職（行政職）職員は、理系としての素養を活かし、

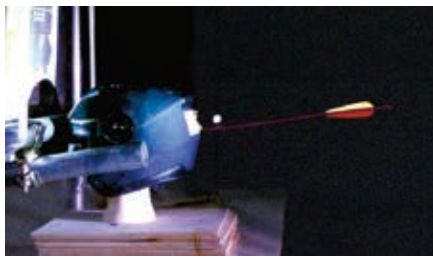
生活安全、刑事、交通、警備、サイバー警察といったあらゆる部門で政策の企画立案を担っています。

一般職職員は、技術のプロフェッショナルとして、警察独自の情報通信ネットワークの構築、犯罪捜査における技術的支援等を担っています。

総合職（研究職）職員は、それぞれの専門に応じて、科学捜査についての研究・実験等を担っています。



本庁だけでなく、都道府県警察も活躍のフィールドであり、サイバー犯罪の捜査などをとおして、国民の安全・安心を守っています。



ヘルメットに対する
クロスボウの射撃状況
（衝撃でわずかに矢の
たわんでいる様子が見られる）



令和6年能登半島地震における
警察部隊活動への技術的対応

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



様々な分野で、 日々新しい知識、人、仕事と出会える

2016年採用

佐々木 彩乃

警察庁 サイバー警察局
サイバー企画課 課長補佐

●記憶に残っている業務

全国の捜査員が、犯罪発生状況、犯罪手口等の犯罪関連情報を地図上にプロットして犯罪発生場所等を分析する際に使うシステムの更新に従事した経験です。情報分野の出身でないため難しいこともありましたが、システムの新機能の検討や使い方の指導のために第一線の捜査員と意見交換をしたことは、現場の声を取り入れ、犯罪捜査の高度化に貢献できた貴重な機会だったと感じます。全国警察へ影響を与えることができるというのも、国家公務員ならではの仕事だったと思います。

●仕事の面白み、やり甲斐

警察では、犯罪捜査、交通、災害対応といったように幅広い施策を取り扱っており、警察庁技官は採用時の試験区分によらず様々な分野を経験するキャリアパスとなっています。そのため、異動の度に新たな業界・分野への知識を深めることができるのが魅力であると感じています。また、現職のサイバー分野は世間の関心も高く、携わった施策が報道で取り上げられることが多く、社会に影響を与える仕事に従事していると実感する機会があることはやり甲斐の一つです。

デジタル社会形成の司令塔

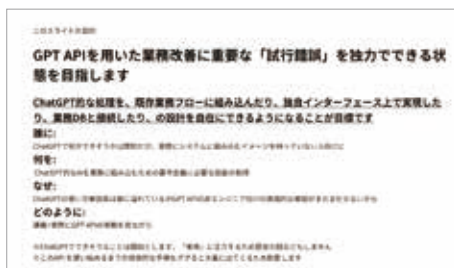
デジタル庁は、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」をミッションとして、社会全体のデジタル化を推進しています。誰もがデジタルの恩恵を受けるデジタル社会を実現するためには、技術面・制度面・体制面等、多面的なアプローチが必要です。技術系のバックグラウンドを持つ職員は、現在・未来の社会課題の解決や、人にやさしいデジタル社会を実現するために「技術面」でもアプローチをする役割を担っています。また、専門性の高い知識・スキルを活かし、行政サービスの利便性向上や、デジタル社会の基盤整備、デジタル技術に基づいた制度設計等の業務で活躍しています。



デジタル庁オフィス
(芝生エリア)



デジタル庁オフィス
(執務エリア)



中央省庁向け
生成AIワークショップの開催
(講義資料)



マイナポータル：
行政手続のオンライン窓口

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



「あなた」が主役の デジタル社会を目指して

2023年採用

志茂 衛

デジタル庁
戦略・組織グループ AI担当

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学院では、シャレド画像から細胞の個数と面積率を正確に算出できること目的とした、ファインチューニングの研究を行っていました。課題解決のためのAI学習及びAI活用経験を活かし、現在は、行政における生成AIの利活用推進や、政府等保有データのAI学習データへの変換にかかる調査研究等に関する業務に携わっております。

● 仕事の面白み、やり甲斐

業務を通じて、最新のAI技術の知見や動向をインプットできる機会が多いことと、AI分野は技術や取り巻く環境の変化が激しいため、変化の流れをある程度予測しつつ、柔軟かつアジャイルに取り組める点が、日々新鮮で面白いと感じます。また、行政における生成AIの利活用推進等の業務は、デジタル庁に限らず、他府省庁及び自治体の業務効率化等につながる重要な仕事ですので、とてもやりがいも感じます。

情報通信技術でより良い社会に

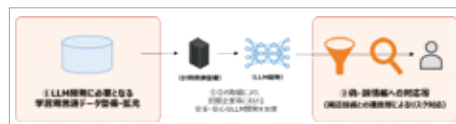
総務省は、我が国の成長分野のひとつである情報通信分野を所管し、通信・放送分野の健全な発展のほか、サイバーセキュリティの確保、先端的な研究開発、ICTの利活用の推進などを行う「情報通信行政」を担っています。情報通信行政においては、情報通信分野の最先端の技術動向を踏まえた政策が求められており、技術の特性を踏まえた制度見直しや利用環境の整備、安全安心に配慮した対応などが求められます。技術をよく理解した上で、政策を企画立案していくことが求められますので、技術系職員が理系のバックグラウンドを活かして活躍しています。



Beyond 5G



世界無線通信会議 (WRC)

大規模言語モデル (LLM) の
開発力強化

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



理系的センスを軸とした 総合格闘技

2018年採用

宇野 祐輝

総務省 国際戦略局 技術政策課
研究推進室 先端研究係長

● 国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学院への進学が決まっていた大学4年の冬、友人に連れられて説明会に参加したのがきっかけです。当時は自身の進路について「理系だから何となくエンジニアかな」程度しか考えていなかったのですが、理系的なセンスを活かしながら国のために働く技術系国家公務員の格好良さに惹かれました。

● 仕事の面白み、やり甲斐

5GやAIといった先端技術に触れて技術的な面白さを感じつつ、研究開発や社会実装等の技術のライフサイクルの様々な場面に幅広く関わりながら、国の発展に貢献できる点にやり甲斐を感じています。

技術系国家公務員の仕事では、技術に対する理解力といった理系的な能力がベースとして求められるとともに、法律・予算等に係る文系的な能力も求められます。まさに「理系的センスを軸とした総合格闘技」であり、総合格闘技ならではの仕事の幅広さが魅力です。

災害対策の司令塔

消防庁は、火災の予防や消火、救急、救助、防災など「国民の安全・安心」を担っています。

高齢化社会の到来や新エネルギーの出現、ICTの活用など、社会の大きな流れの中で、誰もが安心して暮らすためには、

合理的な安全対策が必要です。技術系職員は、消防防災の専門家としての現場の知見、研究者や技術者と議論するための理系の素養、そして関係者が納得できるように説明する行政官としての技量をもって、合理的な安全対策を実現します。

また、地域の消防力では対応できない大規模な地震や集中豪雨などの自然災害、大規模事故、テロなどの緊急事態の際には、

被害の全貌を把握するとともに、全国的な見地から緊急消防援助隊を派遣して被害の抑制にあたるなど、オペレーション業務を担います。



地震などの大規模な災害が発生すると、消防庁内にある消防防災・危機管理センターに参集し、情報収集や緊急消防援助隊のオペレーションなどを行います。



消防の現場で活躍する消防吏員、地域の防災を担う市町村・都道府県の職員、地方自治体や行政評価を専門とする総務省の職員など、様々な経歴を持つ職員の橋渡しの役割を担い、チーム力を高めます。



現場の意見を正確に理解した上で施策に反映させるため、入庁して数年で消防本部に向向し、現場活動や消防防災行政の基礎的な知識を身につけます。

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



なんやかんや言うても 「人の命を守る仕事」ってカッコよくない？

2018年採用

西田 空 消防庁 予防課 設備係長

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学では、農学部で食品生物科学を専攻していました。食品や製薬といった業界に進む同期が多い中、国家公務員、まして消防庁は異色の就職先だったと思います。食品に関する知識が消防行政に直結する機会は正直あまりありませんが、火災予防分野では化学、救急分野では免疫学に関する知識が役立つ機会もありました。そして何より論理的思考や科学的根拠を求める姿勢そのものが理系行政官には不可欠だと感じています。

● 記憶に残っている業務

消防庁ではキャリアパスの一環で、各地の消防本部に向向することがあり、私も札幌市消防局で消防士として現場活動に従事しました。中央省庁の業務はどうしてもデスクワークが主となりますが、実際に火災現場で放水したり、心肺蘇生を行ったり、文字どおり人の命を預かる仕事をしたことは、かけがえのない経験となりました。自分が霞が関でやっている仕事の向こうには、いつも現場で命がけで戦う消防職員と、助ける求める人々がいることを痛感しました。

刑務所の中に一つの「まち」をつくる

法務省では、刑務所等の矯正施設や法務局、検察庁等全国約800に及び施設の整備を法務省の技術系職員（総合職、一般職）が行っています。特に刑務所等の矯正施設では、保安性を確保しながら矯正処遇を行う場として特殊な計画が必要である一方、被収容者にとっては生活の場でもあり、収容棟又は居室以外にも作業場、浴場、炊事場、運動場、診察室又は病室など塙の中に多様な建物があることから、担当する職員は各用途に応じた専門知識をもって設計を行います。また、法務省は、矯正施設の整備を行う国内唯一の機関であり、明治時代からのノウハウを生かしつつも、国際会議への参加や3次元CADでの設計など、新しい時代に即した施設整備も行っています。よりよい社会を目指し、塙の中に「まち」をつくりませんか？



拘置所（東京拘置所）



刑務所（喜連川社会復帰促進センター）



総合庁舎（甲府法務総合庁舎）



研修所（国連アジア極東犯罪防止研修所）



工事監督（全国の工事現場にも出張します!!）



国際会議（アジア矯正建築会議）



3次元CADによる設計事例（BIM設計）



少年院（沖縄少年院・沖縄女子学園）

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



私たちと一緒に国民の 安全・安心を守る施設をつくりましょう！

2020年採用

蘆田 絢菜

法務省 大臣官房施設課
官署施設企画第一係

●記憶に残っている業務

入省2年目に設計を担当した案件で、敷地や法令の制約、ユーザーからの要望、限られた予算など、様々な条件の中で設計をするのはとても難しかったのですが、上司や業務受注者と協議をしながら図面が出来上がったときはやりがいと達成感を感じました。

また、実際に工事現場の視察を行った際には、自分が設計や工事に関わった建物ができあがることで、成果が形に残る喜びを感じることができました。

●日々の仕事

官署施設企画第一係では、主に検察庁や法務局等の官署施設の予算要求を行います。基準や関係部署との協議から、必要な面積、居室構成などを技術的知見に基づき整理し、設計の土台となる基本的な構想を企画・立案します。その後、企画内容に基づき、設計・工事の概算費用を算出し、予算要求を行います。

現在は関係省庁等と調整しながら予算要求のための資料作成等を行ったり、全国各地の施設へ調査に行くこともあります。

国際社会における日本を支える

外務省の任務は国際社会の一員として求められる責任を果たしつつ、日本の安全と繁栄を確保し、国民の生命と財産を守ること。激動する世界情勢のなか、世界各国で外交活動の拠点となるのが大使館や総領事館、政府代表部などの在外公館です。相手国にとって「日本の顔」とも言える在外公館施設の建築企画から竣工後のメンテナンスまで、建設プロジェクトの全てを担うプロデューサーとして、また、本省と在外公館との間でやりとりされる外交情報を24時間365日、安心、安全、確実に送受できるよう、より強固な情報通信システムの開発・管理を行い、巧妙化するサイバー攻撃から情報を守る専門家として、技術系職員は我が国外交基盤の一端を担っています。



宮繕技官が世界各国で建てた在外公館施設（大使館等）



日本政府専用機搭乗のための事前訓練



サーバーで外交情報通信システムのメンテナンス



現在、進捗中の大使館事務所増改築工事現場の様子。工事の品質の確保も重要な任務の一つです。



外交通信の中核を担っている大臣官房情報通信課



在ザンビア日本国大使館でインマルサット衛星通信機器設置

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



技術を生かし、世界の現場で活躍してみませんか？

2014年採用

後藤 怜

外務省 大臣官房情報通信課
デジタル化推進室

●記憶に残っている業務

新型コロナウイルスが蔓延していた頃は、在サウジアラビア日本国大使館に勤務していましたが、オンラインでのG20（サウジアラビア開催）で主にロジスティック担当職員として携われたことは記憶に新しいです。当時、急速に普及していったオンライン会議や各種ツールの導入を最前線で担えたことは現在の業務でも役に立つと同時に、「なんとかなる」というマインドセットは精神的にも大きな成長がありました。

●日々の仕事

外務本省では、本省と在外公館をつなぐネットワークの開発や運用保守を担っており、在外公館では、館内のネットワークの運用保守を含め情報通信に関する業務全般を行っていました。最近までデジタル庁に外向しており、ガバメントクラウドソリューション（GSS）の各省庁の導入のための支援、主にパスポートの電子申請における課題解決、海外部門でのロジスティック補佐の3つの仕事に従事しました。どの仕事にも共通することは日々の学習とコミュニケーションの重要性です。また、官と民では物事の捉え方も異なるケースがあり、そのギャップの解消も日々の重要な仕事の一部になります。

国のゲートキーパー

税関では「安心・安全な社会の実現」「適正かつ公平な関税等の徴収」「貿易円滑化の推進」の3つの使命を掲げています。

その全ての使命に技術系職員が活躍しています。

あらゆる手段を講じて密輸入される不正薬物等を判定する成分の分析。

動植物の生物分類別や機械部品の素材や用途別により税率が変化する輸入品に課される関税を適切に徴収するために行われる品目分類。

輸出入の申告や入出港に関する申請をオンラインで処理する情報処理システムの管理。

これら以外にも様々な専門性を有する技術系の職員にとって、税関は知識や技術が活かせる職場が多くあります。



証拠品のデータの解析



押収品の内部にある
記録媒体の取り出し作業



デュプリケーター(複製機)を
使用したデータの保全

調査担当部門との
打ち合わせ



もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



異なる視点から、 国際物流の一翼を担う

2020年採用

北野 敦暉

財務省 大阪税関調査部
検察部門

●日々の仕事

財務省税関局では、資料作成や外部との調整業務、国会对応など、文系理系に関係なく、様々な業務を経験しました。膨大な輸出入データを管理することも多く、学生時代に研究を通して培ったプログラミングやExcelマクロの知識が生かせることもしばしばありました。

現場の税関では密輸事犯の犯則調査のため、内偵や家宅搜索等、学生時代には考えもしなかった業務も経験でき、日々刺激にあふれています。

●仕事の面白み、やり甲斐

財務省税関は、国際物流の一翼を担う組織であるため、想像以上に多彩な業務を経験できる魅力的な組織です。

ニュースでも話題になった押印省略に係る業務の他、イギリスのTPP加盟交渉に関する業務、現場の税関では、輸入関税等の脱税調査や、薬物の密輸調査に係る家宅搜索など、新しい経験ばかりの、刺激的な毎日を送っています。

文系理系に関わらず、日々新しい刺激を得ながら仕事をしたいという方にとって、財務省税関は非常に面白い職場なのではないでしょうか。

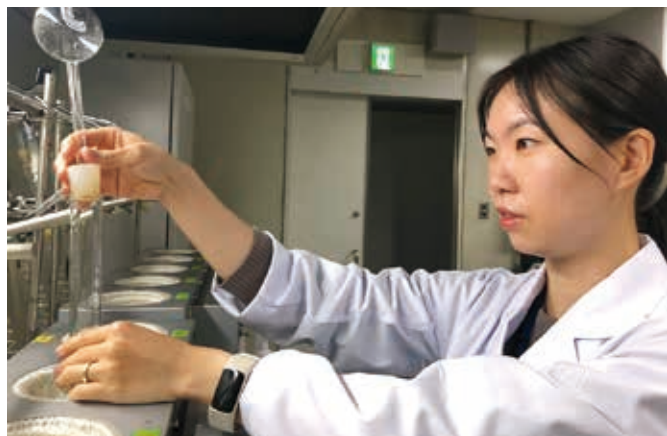
税務行政と酒類業を技術で支える

国税庁の技術系職員は、「鑑定官」と呼ばれ、課税物件である酒類・揮発油類の分析・鑑定を通して適正かつ公平な国税の賦課の実現のため活躍しています。

また、酒類製造者への技術的な指導や相談等の酒造技術の向上のための取組、酒類の安全性確保に関する取組を実施しています。

その他、酒類産業振興のため、技術的な知見を活用し、国内産酒類の輸出促進に向けた取組等を行っています。

鑑定官は、以上のミッションを遂行するため、酒類・ガソリンについて技術的な知見を持つスペシャリストとして活躍しています。



課税物件である酒類のアルコール分析



鑑評会の開催



コーデックス委員会への参加



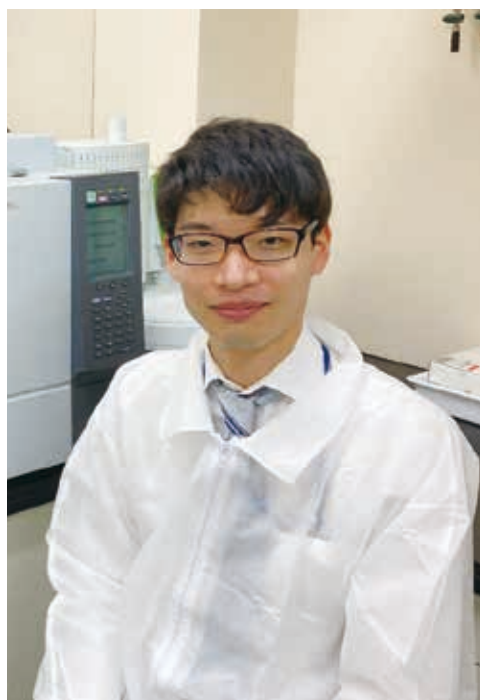
酒類製造者に対する技術相談

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



技術とアイデアを 形にする現場がここにある

2014年採用

田中 淳

国税庁 名古屋国税局
課税第二部鑑定官室 鑑定官

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は農学を専攻しており、フィールド(畑)と実験室(微生物培養や顕微鏡観察など)を半々くらいで過ごしました。自分の専攻と仕事の内容に直接的はつながりませんが、実験器具の取扱いや、考え方、情報のまとめ方など、学生時代の経験が役に立つ場面は多いと感じています。学生時代はそれが当たり前となっており、あまり意識しませんでした。今の仕事を進めていく上で、自分の強みになっていると感じます。

● 仕事の面白み、やり甲斐

私たちは「技術」を切り口に酒類業界に関わりますが、何が出来るかはアイデア次第です。各地の国税局では、近年のクラフトブルワリーの増加を踏まえ、勉強会を立ち上げる例が増えてきました。当局でもビールワークショップを開催していますが、アンケート結果を踏まえテイスティング勉強会を新設するなど、先輩職員達が積み上げてきたものをより良く発展できるよう工夫を凝らしています。現場に近く製造者の顔が見えるからこそ、その成否も分かりやすく、毎日が真剣勝負です。

未来づくりのプロフェッショナル

文部科学省では、事務系・技術系を問わず、教育・科学技術・スポーツ・文化といった広範な分野の業務を扱います。

中でも技術系職員が中心となる科学技術分野では、多様な学術・基礎研究への支援や、そこから生まれた成果の社会実装に向けた取組、国単位の大きなプロジェクトの推進に加えて、これらを支える人材の育成や産学の組織的連携、国際連携等の横ぐしの政策立案を行います。日進月歩の科学技術・学術が生み出す社会変革やイノベーションは、我々の生活を豊かにするとともに、ときにリスクを生み出すこともあります。文部科学省の技術系職員には、こうした最先端の研究開発や社会動向へのアンテナを高く保ちつつ、予算・法令・税制等のツールを総動員しながら、深い洞察と課題解決力によって豊かな国づくりに向けた政策を立案する役割が求められています。



3GeV高輝度放射光施設 NanoTerasu



スーパーコンピュータ「富岳」
(©理化学研究所)



H3ロケット試験機2号機の
打上げ (©JAXA)

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



多様で厚みのある 研究大学群の形成に向けて

2022年採用

廣江 永

文部科学省 研究振興局 大学研究基盤整備課
大学研究力強化室 研究力強化推進係

●日々の仕事

国際卓越研究大学の認定等に関する審査の事務や、大学ファンドからの助成に関する調整業務を主に担当しています。また、国際卓越研究大学に限らず、我が国の研究大学群全体の研究力強化に向けて、調査・分析や大学関係者等との意見交換を通じた検討も精力的に進めています。その他、会期中は国会対応や、時間がある時は興味のある省内外の説明会や勉強会に参加して、日々楽しく仕事をしています。

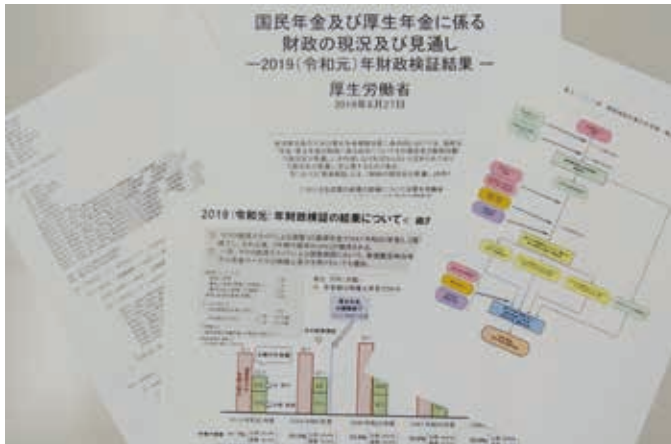
●仕事の面白み、やり甲斐

個人的な見解ですが、国家公務員という職の一番面白いところは、国の政策といった官僚でない限りあまり正面から向き合う機会がないような非常にスケールの大きく多様な案件に触れる機会があり、かつそれを自分事として捉えて極めてフラットな立場から職業として本気で検討できる環境にあり、さらに意見を言うだけでなく、実際に蚊帳の中の当事者として様々な打ち手を検討して実行していくことができることが醍醐味だと思います。

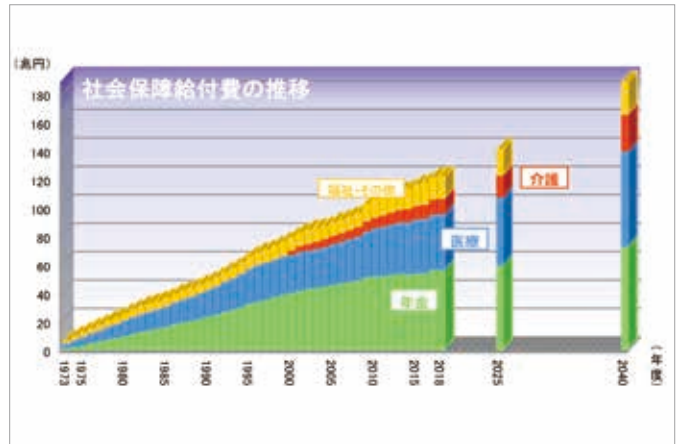
かけがえない生活の「要」－当たり前の日常を守る－

「ひと、暮らし、みらいのために」は、職員が一丸となって国民にとってあるべき厚生労働行政を推進していくという想いの支柱として掲げられたキャッチフレーズです。「ひと、暮らしのために」はまず、社会のニーズを的確に捉えないと適切な施策を実施することができません。また、「みらいのために」は将来の姿やニーズの変化を見据え、先手を打って施策を実施していくことが重要です。

厚生労働省総合職技術系は、薬系、数理・デジタル系、技術系、人間科学系の4種類の区分がありますが、そのなかで数理・デジタル系は、「ひと、暮らし、みらいのために」、数理学やデジタルの知識・素養をダイナミックに活かし、各種施策の企画・立案に必要な分析や将来推計等を行っています。



公的年金制度の将来推計 (財政検証)



社会保障給付費の推移と将来見通し



有効求人倍率の公表に伴う
記者会見の様子

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



社会の基盤を 技術で支える

2019年採用

村上 知香

厚生労働省 労働基準局賃金課
最低賃金係長

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学院では、数理統計学を専門とし、確率過程に関する研究をしていました。統計調査の標本設計・標本抽出・分析等に携わる業務では、数理統計学の理論を用いて数式やプログラムを組み立てており、学生時代に身につけた知識・技術を直接的に生かすことができています。また、政策の根拠として活用するために国内外のデータを参照する機会が多く、数字に慣れ親しんでいること自体が生かされる場面も多いです。

● 記憶に残っている業務

OECD(経済協力開発機構)の委員会に上司の随員として出席するため、フランスに出張したことが印象に残っています。OECDは世界最大のシンクタンクであり、各国の様々なデータを収集しています。データを国際比較するには、各地域の定義や時点の違いに留意することが不可欠です。現在も国内の施策について考える際に、他国のデータを参照する機会はしばしばあり、OECDにおける議論を肌で感じた経験は今後ずっと生きるだろうと考えています。

食と生命の守護神

日本の食料・農林水産業は、自然災害の頻発や地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化、生産・消費の変化など、様々な課題に直面しています。将来にわたって食料の安定供給を図り、生産力向上と持続性の両立を実現するには、イノベーションといった、より科学的な手法が欠かせません。具体的には、収量増加や品質向上に帰するバイオテクノロジーや、省力化を可能にするAI・IoT・ロボット技術を活用したスマート農林水産業などの開発・実装が急務となっており、農林水産省では多様なバックグラウンドを持つ技術系職員が、自身の専門的な知識・能力を生かしながら、現場の課題を踏まえた政策の企画・立案・実行など広い範囲で活躍しています。



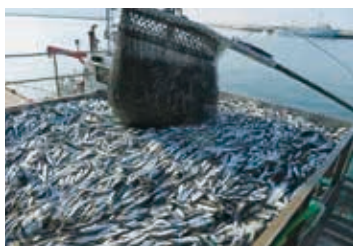
ドローンによる農薬散布



基盤整備により大区画化されたほ場（茨城中部地区）



木材をふんだんに利用した大規模建築物



漁獲物の水揚げ風景



水産業の拠点となる漁港の整備

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



理系の知見を生かして 社会に貢献できる

2021年採用

渥美 和音

農林水産省 大臣官房環境バイオマス政策課
みどりの食料システム戦略グループ 気候変動国際交渉係長

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代に農学部で学んだ知識が多くの場面で役立っています。現職では、農業分野の日本技術を海外にも展開する事業を担当していますが、大学で学んだ知識が、スマート農機やAIを活用したモニタリングなどの最新技術について理解する助けになりました。

● 記憶に残っている業務

気候変動の国際交渉に携わる現職で、COP28の交渉会合に現地参加したことが記憶に残っています。世界全体が関わる気候変動という問題について、先進国・途上国の立場が異なる場面も経験しましたが、最終的に将来を見据えた決定が行われた際に会場で大きな拍手が上がったのは、とても印象的でした。

日本経済の牽引役

経済産業省は、日本の経済・産業を活性化させ、社会を豊かにするための政策の企画・立案・実行を担っていますが、実は採用数の約4割が技術系職員です。取り組む課題は、エネルギー・環境からロボット、モビリティ、AI・IoT、バイオ・ヘルスケア、産業保安など、経済に関わる全ての産業分野にわたりますが、分野に限らず、産業の競争力を規定する大きな要素として技術・イノベーションがあり、それらが社会に実装されることで、私たちの暮らしはより豊かになっていきます。だからこそ、経済産業省の技術系職員は、技術と社会を繋げる人材、技術も行政も操れる人材として、理系としての専門性や理系的思考を活かしながら、日本の産業・人々の暮らしを豊かにする「仕組みづくり」に日々活躍・挑戦しています。



半導体業界で「伝説のエンジニア」と称される、ジム・ケラー氏との意見交換



COP28の交渉会合で日本政府として発言し、合意に向けて議論に貢献



産業保安監督部における発電所、鉱山等の保安業務

COP28のサイドイベントで国際機関と連携し、日本の気候変動適応の取組を発信



もっと詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



一人称が「国家」。 そんな壮大なスケールのフィールドで、 私達と一緒に戦いませんか？

2018年採用

中田 尚吾

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課
デバイス・半導体戦略室 室長補佐

● 国家公務員になろうと思ったきっかけ

対峙する課題のスケールの大きさにやりがいを感じたからです。日本はエネルギーをはじめとする資源が少なく、更に人口減少が進んでいく中、課題先進国として、様々な課題を乗り越えなければなりません。こうした状況の中で、国家という視点で、政策というツールを最大限活用して、日本が抱える課題に挑戦したいと思いました。

● 日々の仕事

私が担当する半導体に関するミッションは、主には、①半導体の国内生産能力強化、②国際連携の推進、の二点です。日々の業務としては、(1) 国内の半導体関連投資促進を目的とする補助金・税制の制度創設・執行に向けた、TSMC等の半導体関連企業とのコミュニケーション・交渉、制度案の作成・相談、財務省への予算要求、(2) 海外政府との打ち合わせ（海外出張が非常に多く、私は2023年だけで6回行きました）など、業務は多岐にわたっています。

「知的財産」の守り人

特許庁の技術系職員は、審査官・審判官として特許の審査・審判業務に従事するとともに、特許制度を取り巻く様々な業務に携わり、日本の技術開発を支えています。審査・審判業務では、国内外から出願された発明の理解、従来技術の調査、特許性の判断等、各プロセスにおいて理系の専門知識を最大限に活用します。入庁後は、業務や、学会への参加、海外留学等の機会を通じて技術と法律の専門知識をさらに深めていくことができます。

また、審査で身に着けた知識や経験を強みとして、法律改正や国内外の知財政策の立案、中小企業・大学・スタートアップ支援など多様な分野に活躍の場があり、イノベーションの推進、日本の産業発展に貢献しています。



審査室の風景



協議を行うためのスペース



口頭審理を行う審判廷



国際会議などが行われる特別会議室



審査官の執務環境

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



特許審査を通じて技術の強みを明らかにし、産業の発達に寄与する

2020年採用

大倉 峻吾

特許庁 審査第四部
情報処理 審査官

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

特許出願を審査する業務においては、出願された技術の内容を理解することや、近い技術が記載された文献を探すことが非常に重要です。学生時代に授業で身につけた理系的な知識や、論文を読んで技術を理解した経験などが、今の業務にも活かされています。

また、ある技術と他の技術とで、どこが同じでどこが違うのかを考える際に、理系的な論理的思考能力が活かされていると感じます。

● 仕事の面白み、やり甲斐

審査業務においては、最先端の技術に関わる文献に数多く目を通すことになります。技術内容が難しい文献も多いですが、自身の知識が広がっていく実感があります。また、膨大な文献の中から、特許出願に近い技術が記載された文献を見つけたときは、達成感があります。そして、産業発達に寄与するための特許制度を支える一員として、特許査定等に実名が載るというやりがいもあります。

豊かな暮らしと経済の実現

国民の命と暮らしを守ることが使命である国土交通省は、社会資本整備の推進、社会資本の老朽化対策、交通政策の推進、地域活性化の推進、心地よい生活空間の創生、競争力のある経済社会の構築等、多岐にわたる施策に取り組んでいます。技術系職員は、より効果的で実効性のある施策立案・判断・業務遂行等に貢献しており本省における施策立案・制度設計、現場における計画・設計・施工・管理・運営等、幅広いフィールドで活躍しています。

また、令和6年能登半島地震では、TEC-FORCEとして、のべ25,000人・日を超える職員を被災地に派遣しており、多くの技術系職員が専門性を活かし被災地の早期復旧・復興に貢献しています。



国土交通省
非常災害対策本部会議



建設業者と連携した
道路の緊急復旧（輪島市）



上下水道施設の復旧支援を
市長へ説明（七尾市）

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



現場力をフル活用して 地域に寄り添い支える 国土づくりのプロフェッショナル

2012年採用

美野 智彦

国土交通省
北陸地方整備局・能登港湾空港復興推進室長

●記憶に残っている業務

港湾局で、港湾のコンテナ物流に関する細かいオペレーションを現場で教えていただきながら、AI・IoT等最新技術を活用して如何に労働環境改善・効率化できるか試行錯誤したことは、新たな施策・取組にチャレンジする経験として印象に残っています。また、沖縄に赴任した際に、那覇空港第2滑走路の完成・供用開始に関わり、1つの大プロジェクトの完成による感動や地域の方々の喜びを身近で感じることができたことは、非常に貴重な経験でした。

●仕事の面白み、やり甲斐

政策立案や予算獲得のために国全体を俯瞰することを経験できることや、細かい課題を一つ一つ解決して工事を進め、形（地図）に残るインフラを作ることでもあることは、国家公務員（国土交通省）の仕事のやり甲斐だと思います。

本省・整備局・事務所のどこでも、どの役職でも、新たな学びがありますが、深く業務・物事を理解して専門性を持ちつつ、様々な立場の関係者に合わせてわかりやすく説明するために工夫することは、この仕事の面白みだと思います。

科学技術を駆使する防災の専門官

気象庁は、自然現象を常に監視・予測し、利用目的に応じた適時的確な気象情報の作成・提供を行うことで、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに貢献しています。

その使命を果たすには、常に最新の科学技術を駆使し、気象情報作成等のための技術基盤を確立・向上させることが不可欠です。

このように、技術系職員の活躍の場が多岐に渡るため、働いている職員の約9割を技術系職員が占めています。

活躍の場が多くありますので、専門性を極めることも、様々な分野を経験することもできます。

キャリアの中で自分が活躍できる場を探していけるところも、気象庁での仕事の面白さの一つだと思います。



赤道上空約35,800Kmで
大気の状態を観測（気象衛星ひまわり）



スーパーコンピュータ上で
数値予報モデルによる
気象予測の計算を実施



災害が発生した際に地方公共団体等に
直接解説を実施（気象庁 防災対策支援チーム（JETT））

気象庁の仕事に関連した
コンテンツを展示
（気象科学館）



もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



人々を守るため、プロに学び、 プロを目指せる職場です

2019年採用

山崎 編音

気象庁 大気海洋部 予報課
気象監視・警報センター 現業班

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学では地球科学を専攻しており、現在の所属に係る気象学は専門ではありませんでした。ですが、大気や海洋に関する基礎的な知識のほか、教養課程で学んだ様々な学問、さらに学外での活動も含めて、現在の仕事に活かしているものは数多くあります。

気象庁の業務はとても幅広く、どの部署も高い専門性をもっています。自分の専門を活かせるだけでなく、異動のたびに学びの機会があり、少しずつ専門性を身につけていくことができるのも魅力だと感じています。

● 日々の仕事

現在所属している気象監視・警報センターでは、気象に関する実況監視、警報・注意報や天気予報の発表といった現業業務を担当しています。気象状況は刻々と変化し、災害の発生に繋がるような現象はいつ起きてもおかしくないことから、24時間365日、交替制勤務で監視を行っています。そのほか、自治体への防災支援のための気象解説や、予報技術のさらなる向上を目的とした事例調査などの取り組みも行っています。

日本の海の守護神

海上保安庁海洋情報部では、航海安全、海洋権益、防災など、日本の海を守るため、海の科学的調査を行い、安全な航海に必要不可欠な「海図」、海に関する情報・データを広く社会に届ける「海しる」を提供しています。

海洋情報部職員は、科学技術を道具に、フロンティアである日本の海を守り、活かすために、職務に取り組んでいます。

また、交通部では、海上交通の安全確保と運航能率の増進を図るため、海上交通センターにおける航行船舶への情報提供、マリトレジャーを楽しむ方への安全対策、灯台をはじめとする航路標識の整備や運用等を実施しています。

交通部職員は、最新技術を駆使し、海上交通の安全を守るために、職務に取り組んでいます。



大瀬崎灯台（長崎県五島市）



測量船「光洋」



測量機「あおばずく」



海上交通センターにおける情報提供



海洋状況表示システム「海しる」



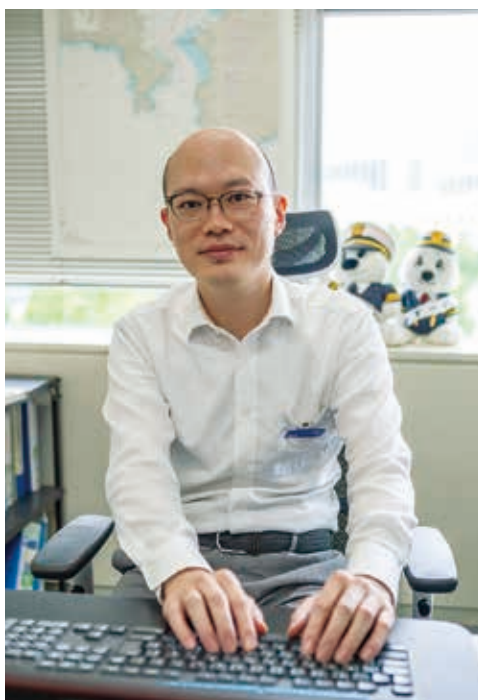
自律型潜水調査機器（AUV）

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



技術の力で海を知り、 海上交通の安全を守る

2007年採用

長坂 直彦

海上保安庁
海洋情報部技術・国際課 課長補佐

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

入庁当初に担当した地球（回転楕円体）上の精密な距離計算は学生時代の専攻（微分幾何学）に非常に近いものでした。その後も、地理空間情報を扱うソフトウェアを使用したり、業務自動化のプログラム作成など様々な点で、理系の素養は役立っていると感じています。補佐職になってからは、業務システムやデータフローといった業務全体の改善の検討において、学んできたことが総合的に生かされていると感じています。

● 仕事の面白み、やり甲斐

我が国の海洋政策はこの20年着実に進化しています。特に、大陸棚延伸や海の情報連携など海上保安庁が貢献してきた分野も多く存在しており、海洋政策全般に対して理系力で貢献できることが魅力です。また本省と違う点は、現場に直結・完結している点です。自前で調査を行い、海図や海しる（海の情報を公開するシステム）といった出口まで完備するのは、船や航空機等アセットを有する当庁ならではの魅力です。

地球と人類の未来の守り人

環境省は、世界を舞台にした国際交渉から、国内で現場に寄り添う仕事まで様々な場面で活躍し、「環境」を軸にして仕事ができる唯一の省です。

スペシャリストとゼネラリストとの両視点からあらゆる分野で活躍し、世の中の制度づくりに携わることができます。

「理工系採用職員」は、気候変動対策、循環型社会の構築、水大気環境保全、化学物質対策等、「自然系採用職員」は、生物多様性の保全、国立公園の保護管理、希少種の保全や外来生物対策、施設整備などの分野で活躍しています。



知床連山より知床岳を望む
(知床国立公園)



企業が管理するブドウ畑も
自然共生サイトに認定
(麒麟ホールディングス株式会社・
シャトー・メルジャン 梔子ヴィンヤード)



脱炭素先行地域の選定と
伴走支援



令和6年能登半島地震への対応

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



現場経験を想像力に変え、 全国の自然環境に 思いを巡らせて行動する

2017年採用

橋口 峻也

環境省 関東地方環境事務所 国立公園課
課長補佐・世界自然遺産専門官

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代には、「森里海連環学」という人文・社会・自然科学の統合的な学問領域に出会い、河川水質と流域内の土地利用との関係について研究していました。自然環境を守るには、単に自然のことだけを考えればよいのではなく、地域の社会環境も踏まえながら様々な関係者と調整しなければならないため、学生時代に学んだことは現在の仕事にも活かされています。また、研究活動を通じて身につけた論理的に考える力は、仕事でも役に立っていると感じます。

● 日々の仕事

現在の担当業務は、世界自然遺産である小笠原諸島の保全管理です。現場の自然保護官事務所と協力し、関係機関や地域の団体、有識者等とも連携しながら、希少な動植物の保全、外来種対策などを実施しています。日々の業務は、必要な予算を獲得するための情報収集・資料作成や、有識者会議の開催の調整、希少種保全・外来種対策の新たな技術開発のための専門業者との打合せ、外来種侵入防止柵の設置工事の監督など、多岐にわたっています。

世界最高水準を目指す確かな規制

原子力規制委員会は、常に世界最高水準の安全を目指し、原子力発電所などの安全規制を行っています。

原子力施設は、あらゆる分野の技術が集まって成り立っており、その規制には、様々な分野の科学的・技術的な知識が必要です。

また、放射線防護や原子力防災・災害対策などの役割も担っています。

そのため、原子力規制庁は、全ての区分の技術系職員（職員の約8割が技術系）が活躍できる環境であり、

東京での本庁勤務のほか、原子力施設が所在する地域の規制事務所や、国際機関等において、

常に最新の知見に学び、高い倫理観、使命感、誇りを持ちながら、職務にあたっています。



原子力発電所での現場確認



原子力施設の審査会合



米国原子力規制委員会（NRC）本部にて



プラントシミュレータを用いた研修

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



学んだ知識や経験を活かし、 高い専門性を追求できる

2017年採用

田邊 翔

原子力規制庁 原子力規制部
検査監督総括課 係長

● 学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は原子力工学を専攻しており、原子炉物理から、流体力学、放射線、機械工作まで様々なことを学びました。学生時代の恩師の「原子力は総合学問である」という言葉どおり、原子力規制庁では、原子力関係施設の審査業務や検査業務、海外でのワークショップへの参加など様々な場面で知識を活かしています。特に現在所属している検査監督総括課では、日々、原子力発電所の運転状況などの情報が入ってくるので、学生時代に学んだ基礎知識がとても役立っています。

● 仕事の面白み、やり甲斐

学んだ知識を活かせる機会が多いことです。特に原子力規制検査においては、毎日現地の規制事務所から、原子力発電所の運転状況、時にはトラブル情報が報告されるので、その議論の中で自らの知識が生かされる機会が多々あります。

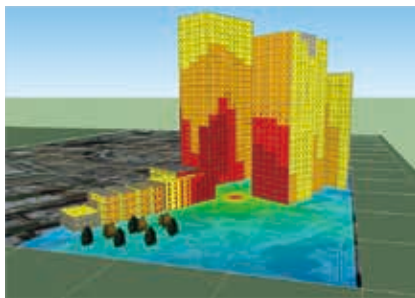
また、出張も多くあるので、今まで知識としてしか知らなかったことを実際に五感で体験することができるため大変面白いと感じます。そして、原子力規制庁には様々な分野の専門家がいるので、その方々から学ぶことにより専門の幅を広げることができる点も魅力です。

平和が未来を創造する ー技術の力で、日本を守るー

防衛省には、我が国の平和と独立を守り、国民の命と平和な暮らしを守り抜くために、技術系職員が理系の専門性を活かせる場があります！
防衛省本省では総合職（行政職施設系・行政職装備系）、防衛装備庁では総合職（研究職研究開発系）、陸海空各幕僚監部では総合職（研究職能力分析系）、情報本部では総合職（研究職情報系）が、地方防衛局や統合幕僚監部や陸海空自衛隊の各部隊等では一般職職員がそれぞれ活躍しています。総合職（行政職施設系）は、自衛隊の活動基盤である駐屯地・基地等の防衛施設に関する政策の企画立案や整備（設計・監督・技術の調査・検討）を担い、総合職（行政職装備系）は自衛隊の能力発揮の根幹である防衛装備品に関する政策の企画立案や調達実務を担い、総合職（研究職研究開発系）は装備品の研究開発業務を担っています。一般職職員は技術のプロフェッショナルとして装備品の点検・整備、防衛施設の設計・監督、サイバーセキュリティ業務等を担っています。



土木・建築・機械・電気の専門性を活かし、
防衛政策を具現化する



ビル群における爆発に対する
脆弱性評価シミュレーション



日英伊3か国による共同開発中の
次期戦闘機（画像はイメージです）
出典：防衛省ホームページ
(<https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/nextfighter/index.html>)



戦略的な「装備政策」を展開し、
日本と世界に貢献する

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you



日本が日本であり続けるために 不可欠な仕事

2013年採用

村田 直毅

防衛省 防衛装備庁 調達管理部
調達企画課 課長補佐（総括班長）

● 国家公務員になろうと思ったきっかけ

大学生の頃、「30～40年後になっても変わらずに誇りを持って働ける仕事はなにか?」と考えたときに、安全保障という国の最も根幹をなす重要な政策を担える仕事に携わりたいと思いました。

● 記憶に残っている業務

入省3年目に海上自衛隊練習機TC-90をフィリピンに移転するというプロジェクトに従事しました。機体の移転のみならず、維持整備支援やパイロットへの教育も行う大規模プロジェクトであり、私自身、何度もフィリピンに赴き、現地の政府や軍の方と話し合いを重ね、移転を実現させることができました。

本件は「防衛装備品の海外移転」の初の成功事例であり、このプロジェクトに携わり移転を実現させたことが今でも私の自信に繋がっています。

給与・勤務時間など

総合職試験採用職員

(令和7年2月現在)

初任給	<院卒者試験採用> 302,560 円 ^{※1} <大卒程度試験採用> 284,800 円 ^{※1}
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.6月分(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分 ^{※2}
休暇等	年次休暇20日 ^{※3} 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日～1月3日) ^{※2}

※1 本府省に勤務する場合の俸給(行政職俸給表(一)

2級)、本府省業務調整手当、地域手当の合計

※2 職務の必要等に応じて異なる場合があります。

※3 4月1日採用の場合、採用年は15日

一般職試験採用職員

(令和7年2月現在)

初任給	<大卒程度試験採用> 271,200 円 ^{※1}
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の約4.6月分(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分 ^{※2}
休暇等	年次休暇20日 ^{※3} 残日数は20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日～1月3日) ^{※2}

※1 本府省に勤務する場合の俸給(行政職俸給表(一)

1級)、本府省業務調整手当、地域手当の合計

※2 職務の必要等に応じて異なる場合があります。

※3 4月1日採用の場合、採用年は15日

人材育成

研修と多様な勤務経験

国家公務員には、研修や他機関への出向等の多様な育成機会が設けられており、本人の希望や適性も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院が実施する
各種研修の詳細はこちら



官民人事交流

国家公務員には、国の機関と民間企業との間の人事交流を通じて、人材の育成、組織運営の活性化等を図ることを目的とした「官民人事交流制度」があります。国家公務員のまま民間企業等で働くことができます(制度ができた平成12年から令和5年末までの間に、延べ803人が民間企業等に交流派遣されています。)

あなたのキャリアに民間企業の経験を!!

交流派遣先の実例

NTTコミュニケーションズ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

住友林業株式会社
株式会社三菱総合研究所

太平洋セメント株式会社
横河電機株式会社

他にも様々な民間企業等へ交流派遣されています。

交流派遣を経験した職員の
成長実感!!

出身府省の理解が深まる、
見え方が変わる

民間企業のノウハウ、
業務手法を体得できる

自ら考え、行動する能力、
情報収集能力が向上する

官民人事交流の仕組み、
有識者・官民人事交流経験者の
インタビュー記事など
詳細はこちら



海外留学など

行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するための、行政官長期在外研究員制度などがあります。

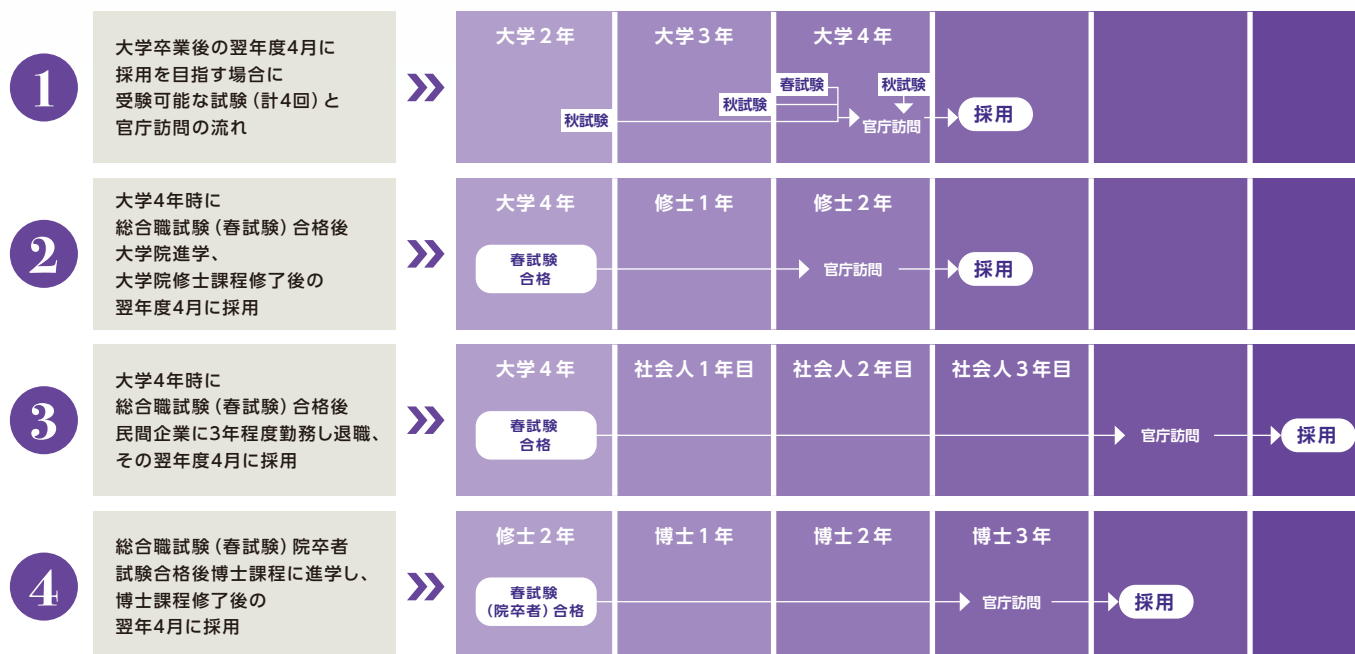
28人

令和5年度の新規留学人数
(技術系区分採用者)

令和5年度の国別留学人数(技術系区分採用者)

米国	英国	フランス	シンガポール	ドイツ
14	10	2	1	1

総合職試験



1.「合格」＝「採用」ではありません。

総合職試験に合格すると一部の試験を除き採用候補者名簿に5年間（教養区分は6年6月間）^{（注）}記載されるので、その間、志望する府省を訪問（官庁訪問）して、内々定を得る必要があります。

2.各種試験と採用時期の組み合わせ

総合職試験には、実施時期に応じて、春試験（「教養区分」以外）と秋試験（大卒程度「教養区分」）の2種類があります。また、採用候補者名簿の有効期間は、2023年度の試験より、最終合格者発表日から5年間（教養区分は6年6月間）^{（注）}となりましたので、例えば、大学4年生で総合職春試験に合格し、大学院の修士課程を修了した方又は民間企業などで3年程度勤務した方でも再度試験を受験することなく、各府省の官庁訪問を経て採用されることが可能です。

（注）2022年度（令和4年度）以前の試験の合格者については採用候補者名簿の有効期間は3年間ですので、ご注意ください。

一般職試験



「合格」＝「採用」ではありません。

一般職試験（大卒程度試験）に合格すると一部の試験を除き採用候補者名簿に5年間^{（注）}記載されるので、その間、志望する府省を訪問（官庁訪問）して、内々定を得る必要があります。

（注）2022年度（令和4年度）以前の試験の合格者については採用候補者名簿の有効期間は3年間ですので、ご注意ください。

府省等別・試験の区分別採用状況

総合職試験府省等別・試験の区分別採用状況

(令和6年4月1日現在)

府省等	試験の区分	院卒者試験									大卒程度試験											合計	
		行政	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	法務	政治・国際	法律	経済	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学		森林・自然環境
会計検査院												3 (1)	2 (1)										5 (2)
人事院												4 (1)	1 (1)	1 (1)					1				7 (3)
内閣府	3 (1)										1 (1)	3 (2)	4 (2)									8 (2)	19 (8)
デジタル庁	1		1				1				2 (2)	1	2 (1)		1							2 (2)	11 (5)
公正取引委員会	1											4 (2)	3 (1)										8 (3)
警察庁	2 (1)			4 (1)	1	1	2 (1)				3 (2)	5 (2)	1			2		1				11 (3)	33 (10)
金融庁	1 (1)					1							8 (2)				1 (1)					6 (3)	17 (7)
消費者庁											1 (1)		3 (1)										4 (2)
こども家庭庁																							
総務省	9 (1)		1	1					1 (1)		7 (1)	6 (4)	1		3 (1)	2						26 (9)	57 (17)
消防庁																1 (1)							1 (1)
法務省	3 (1)	8 (7)										12 (5)		6 (4)		2							31 (17)
出入国在留管理庁	5 (3)	1									4 (2)	2 (1)											12 (6)
公安調査庁	2	1 (1)									3 (1)										1	7 (2)	
外務省	1 (1)								1		13 (5)	1 (1)										20 (9)	36 (16)
財務省	4 (1)						1 (1)	1			7 (2)	10 (4)	5 (2)									13 (3)	41 (13)
国税庁	2 (2)			1		2 (2)	1 (1)				1	1	3 (1)						2 (1)			1	14 (7)
文部科学省	3 (2)	1	1	3	1 (1)	2 (1)			1 (1)		2	3	2 (1)		1 (1)	2						8 (5)	30 (12)
厚生労働省	6 (3)	2 (2)	1	1	4	10 (6)	1				3 (2)	14 (6)	1	1	1	1 (1)	1	1	4 (3)			12 (8)	64 (31)
農林水産省	6 (3)			2		3	32 (17)	3 (2)	7 (3)		4 (3)	7 (3)	1	1	1			2 (1)	17 (9)	16 (5)	10 (5)	12 (2)	124 (53)
経済産業省	3 (1)			3 (1)		3 (2)	1				6 (1)		4 (1)	1 (1)		5	1			1		28 (7)	56 (14)
特許庁			2 (1)	16 (1)	3	8 (5)	2 (1)								1	13 (4)		5 (2)	2 (2)	1 (1)			53 (17)
国土交通省	4 (2)			28 (5)	2				4 (2)		4	8 (1)	4 (2)		1	48 (9)	2			5	5 (3)	10 (5)	125 (29)
気象庁					7												1 (1)	1					9 (1)
海上保安庁				1	1		2 (1)																4 (1)
環境省	1 (1)			1 (1)		4 (1)			7 (3)		2 (1)	3 (1)	1 (1)			2 (1)		1	1 (1)	1		5 (2)	29 (13)
原子力規制庁						1	1 (1)																2 (1)
防衛省				6 (2)		1					6 (3)		2 (1)			6 (1)		1				8 (2)	30 (9)
防衛装備庁			3	7		2										4 (1)		1					17 (1)
(独)造幣局																2 (1)							2 (1)
(独)国立印刷局												1 (1)			1								2 (1)
合 計	57 (24)	13 (10)	9 (1)	74 (11)	19 (1)	38 (17)	44 (23)	4 (2)	21 (10)		69 (27)	88 (35)	48 (18)	10 (6)	10 (2)	90 (19)	6 (2)	13 (3)	27 (16)	24 (6)	15 (8)	171 (62)	850 (303)

(注1) 2023年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和6年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む)。

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和8年4月の採用予定数は、令和7年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況

(令和6年4月1日現在)

府省等 試験の 区分	行政	デジタル・ 電気・電子	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業 農村工学	林学	合計
会計検査院	20 (5)		1 (1)			1	1 (1)	3 (3)			26 (10)
人事院	11 (6)										11 (6)
内閣官房	8 (1)	2 (1)	2 (1)	2		1 (1)					15 (4)
内閣法制局	1 (1)										1 (1)
内閣府	25 (16)	1		4			2	3	2 (1)		37 (17)
デジタル庁	5 (2)	1 (1)									6 (3)
宮内庁	15 (8)			1							16 (8)
公正取引委員会	31 (21)										31 (21)
警察庁	40 (19)	13 (4)	6 (1)	3		4	11 (7)	10 (4)		2 (1)	89 (36)
個人情報保護委員会	10 (7)	1									11 (7)
カジノ管理委員会	6 (2)										6 (2)
金融庁	23 (14)			1		1 (1)					25 (15)
消費者庁	3 (1)						1 (1)				4 (2)
こども家庭庁											
総務省	126 (63)	14 (3)	1	1 (1)		1	2	1			146 (67)
法務省	225 (106)		1		1 (1)						227 (107)
検察庁	184 (88)										184 (88)
出入国在留管理庁	147 (86)										147 (86)
公安調査庁	49 (15)	2 (1)									51 (16)
外務省	3 (3)	2			3 (3)						8 (6)
財務省	9 (4)										9 (4)
財務省財務局					2 (1)						2 (1)
財務省税関	226 (95)	2 (2)				1	18 (9)	3 (2)			250 (108)
文部科学省	22 (9)	1 (1)				2 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	28 (14)
厚生労働省	709 (308)	4 (2)									713 (310)
農林水産省	177 (107)	4 (1)	1			2 (1)	8 (5)	84 (49)	29 (11)	3 (1)	308 (175)
林野庁	17 (6)			1						76 (26)	94 (32)
水産庁	10 (3)			2 (1)							12 (4)
経済産業省	88 (43)	4	7 (1)	4 (2)		2	14 (6)	6 (4)			125 (56)
特許庁	38 (20)										38 (20)
国土交通省	465 (151)	22 (3)	41 (2)	152 (42)	17 (4)	10 (4)	14 (1)	31 (8)	4 (1)	32 (7)	788 (223)
気象庁	47 (15)	5 (1)		9 (1)		57 (12)	20 (7)				138 (36)
運輸安全委員会	2 (1)		1			1					4 (1)
海上保安庁											
環境省	11 (6)			3 (2)		1	5 (3)	3 (1)	1	14 (7)	38 (19)
原子力規制庁	8 (1)		2 (1)	1 (1)	1	1	4 (1)			1 (1)	18 (5)
行政執行法人	23 (14)	1	2			1	6 (2)	8 (5)			41 (21)
防衛省	220 (86)	17 (3)	7 (1)	4 (1)		2					250 (91)
防衛装備庁	28 (10)	1	1			1	1 (1)				32 (11)
衆議院事務局		3									3
衆議院法制局											
合 計	3,032 (1,343)	100 (23)	73 (8)	188 (51)	24 (9)	89 (20)	108 (45)	153 (77)	36 (13)	129 (44)	3,932 (1,633)

(注1) 2023年度一般職試験(大卒程度試験)の合格者で最終合格者発表日以後令和6年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む)。

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和8年4月の採用予定数は、令和7年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。
その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。
なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

女性の登用状況などの
情報は、女性活躍推進法
「見える化」サイト等で
ご覧いただけます。



人事院地方事務局（所）の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712 さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513 大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019 高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>

Youtube

https://www.youtube.com/channel/UCTk_x9QBe3EnDPSP2a0DrQg



X(旧Twitter)

https://x.com/jinjiin_saiyo

Instagram

<https://www.instagram.com/jinjiin.saiyo/>



Threads

<https://www.threads.net/@jinjiin.saiyo>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga.html>



内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>

お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3

Tel.03-3581-5311（代表）

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2024年10月発行